

女と男グッドパートナーいきいきフォーラム開催事業【滋賀県湖南市】

地域の実情と課題

平成27年国勢調査の速報値による人口減の7割以上が女性であり、本市においては、女性の流出が喫緊の課題となっており、女性が働き暮らしやすい環境整備が求められている。また、平成27年度に行った市民意識調査では、家事や子育ては、女性が行った方が良いと思う割合が、男性では53.6%、女性では34.8%と男女間の意識の差が大きい。仕事での男女格差については、特に「結婚したり子どもができると働きにくい雰囲気」についての男女間の意識の差が大きい。このように、本市においては、家庭、職場、地域における固定的性別役割分担意識が大きな課題となっていた。

事業の特徴

- 本事業は商工会および工業会からの推薦者等で構成されている「湖南市男女共同参画リポーター会議」との共催で実施した。
- 本事業は、身近な場所での女性の活躍について考えるパネルディスカッションと、パネリストと参加者による交流会の2部編成で実施した。
- パネリストとしては、消防士、警察官、企業管理職、ワーク・ライフ・バランス推進企業で働く子育て期の社員、起業した女性、次世代を担う高校生など様々な年代・職種・立場の女性7名が登壇した。
- 人と人、人と企業など、新たなつながり創造の場となるよう交流会を設けた。

事業の効果

数値目標【参加者数50人】⇒34人

アンケート回答者の半数以上が「自分の家庭や職場でも働き方について考えていきたい」「男女共同参画や女性の活躍推進について、もっと知識を深めたり、勉強したりする機会を持ちたい」と回答しており、地域における女性の就業状況や課題を共有し、女性活躍の推進について、市民の関心と理解を深め、意識改革の機運の醸成を図ることができた。

目的・目標

【目的】働く場における女性を取り巻く現状を共有するとともに、女性も働きやすい職場づくりについて市民参加型で意見交換を行い、地域における女性活躍推進の気運醸成を図ることを目的とする。

【目標】様々な世代が一堂に会することにより、今働いている世代、これから働く世代が多様な働き方・生き方を認識、世代を超えたつながりを深めることを目標とする。

○数値目標 参加者数50人 ⇒ 実施結果 参加者数34人

連携団体

【湖南市男女共同参画リポーター会議】

- 商工会…1名
- 工業会…2名
- 市民…4名

今後の課題

本事業の内容を多様な媒体（啓発冊子、ホームページなど）を活用して広く市民に伝えたり、定期的なフォーラムの開催を検討するなどして、意識改革の機運を持続させる必要がある。

事業の概要

女(ひと)と男(ひと)グッドパートナーいきいきフォーラム

開催日 平成29年(2017年)1月22日

会場 湖南省共同福祉施設(サンライフ甲西)

■第1部 パネルディスカッション

パネリストの自己紹介の後に、その話の内容を深めるような形の質疑応答で進め、最後は「自分らしく輝くために必要なこと」のメッセージが各パネリストから送られた。

■第2部 交流会

交流会では、参加者とパネリスト、参加者同士などで交流を深めた。また交流会スペースには各パネリストに関連する展示や、感想をシェアするための掲示板を設置した。

【参加者:34人】

自分らしくもっと輝くためのヒント

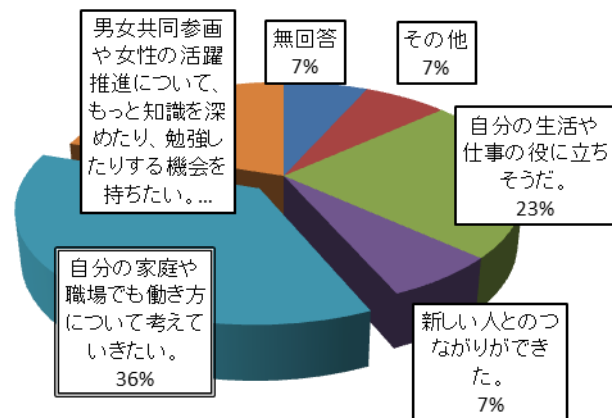
コーディネーター

瀧井 智美さん

(株)ICB代表)



フォーラムに参加して感じたことはありますか。(複数回答可)



	奥村 志保美さん 湖南省で女性活躍推進に取り組み企業、(株)シンコーメタリコン勤務。育休から復帰し、総務経理室で従業員をサポートされています。
	武村 幸奈さん (株)はたけのみかた代表。湖南省に生まれ育ち、有機野菜を使った離乳食の開発・製造・販売を通し、日本の農業と子育てを支える取組をされています。
	田中 綾香さん 甲賀警察署警務課勤務。10月に育児休暇から復帰され、3人のお子さんを育てながら、育児短時間勤務制度を利用して活躍されています。
	永坂 茂美さん 湖南省役所健康福祉部理事。市役所で初めての女性部長。制度でなく家族や地域のサポートを受けながら子育ての壁を乗り越えてられました。
	橋本 枝奈さん 水口消防署勤務。甲賀町に生まれ育ち、大阪の専門学校を卒業後、救急救命士、消防士として地元で活躍されています。
	石田 夏月さん 石部高校2年生。湖南省役所JK課のメンバーでもあり、好奇心旺盛な性格で、「なんでもやってみよう」と校外活動も活発にされています。
	山室 朱音さん 石部高校1年生。看護師をめざし、健康福祉コースで勉強中です。生徒会の副会長としても活躍されています。

パネリストの皆さん

